

この一年を振り返って

区長部

安心、安全、快適な若槻地区を目指して

区長部長 神頭 忠義

令和3年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の対策に追われた一年でありました。その結果、区長部の主要行事が今年度も実施できませんでした。

戦没者追悼式は、参加者の高齢化に伴い感染リスクも鑑み、遺族会と相談の上昨年に続き無理をせずに中止する事としました。また第4回若槻総フェスタも長野市長選、衆議院選が重なり日程調整をしましたが感染拡大により中止となりました。

また、8月に計画しました「ながの未来トーク」は、①つつみ池の跡地を活用した地域の活性化について、②高齢者も安心して利用できるコミュニティセンターの実現に向けて、③北部幹線・高田若槻線開通に伴う交通課題についての3テーマについて長野市に提案を予定していましたが、コロナ感染拡大のため中止となりました。尚、3テーマについての回答書は提示していただきました。

区長部視察研修では、小田切住自協を訪問し「たすけあい事業の再編」に向けた取り組みについて説明をお聞きし、小田切地区の住民の繋がりや強さを感じられました。これからの若槻地区の「たすけあい事業の再編」に向けた学習の場となりました。

新型コロナウイルスはデルタ株からオミクロン株に置き換わりが進み余談を許す状況ではありません。次年度の区長部事業も感染対策を確実に行った上で最大限実施してまいりますので、皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



小田切交流センターにて

生活安全部

コロナ禍の中で変わりゆく若槻

生活安全部長 和田 光人

生活安全部は防犯部会と交通安全部会の二つの部会の活動を通して、若槻地域の子供たちの安全安心な生活が送れるまちづくりを目指して活動をしてきました。

防犯部会は協力団体の「長野中央少年警察ボランティア協会」の協力のもと、地区内の店舗・遊戯施設等のパトロール、小学校の通学路を中心とした青パトによる巡回、子供たちの放課後の行動並びに通学路の安全点検を行う「歩いて見守るパトロール」を実施しました。長年にわたり続けてきた活動ですが、それぞれの地区により通う学校も異なり、時代も変化してきていることから、活動に参加して頂いた多くの方々からご意見を頂いております。その内容を部会で検討した結果、実施方法を見直して本来の目的に沿った4つの活動を中心に行うことといたしました。

交通安全部会は防犯部会と共同で「地域交通安全防犯教室」を6月に計画し、高齢者を中心とした交通安全と特殊詐欺に遭わないための教室を各地区ごとに開催する予定でしたが、コロナ禍の中でやむなく2年連続で中止としました。また全国交通安全運動期間中の啓発活動を各地区で行いましたが、交通安全運動の出発式などへの参加はコロナのため行いませんでした。

若槻地区内市道の停止線など、白線の更新も必要に応じて1年に1回実施してきました。4月に行う予定の白線引きは、従来の塗布方式からスプレー式に変更となり残材処理も市で一括処理して頂くことになりました。

これからも安全で安心して暮らしていける若槻にするためには地域の皆様の協力が欠かせません。今後とも若槻の安心安全のためにコミわかの活動にご協力と応援をお願いします。



歩いて見守るパトロール